

《現場紹介》

◆知多エル・エヌ・ジー

冷水取出設備工事

◆出光興産愛知製油所

冷水送液設備工事

三河支店 光友 裕司

お疲れさまです。今回は知多エル・エヌ・ジー(株)様でのφ2400mm×230mと、出光興産(株)愛知製油所様でのφ2200mm×30mの現場で、どちらも知多市の工業地帯の隣接地に在り、又お世話に成りました元請様が同じ鹿島建設様と言うこともあり2つの現場をご紹介させて頂きたいと思えます。

最初に着工したのは、平成23年2月14日の知多エルエヌジー(株)様の現場からでした。この現場は、推進管路に既設のPC杭がある為、その撤去作業からのスタートです。セメント改良された部分をひたすら斫り、φ2500mmのライナープレートと1段ずつ組みながらの撤去作業でした。この作業を40回ほど繰り返し2本の杭を撤去し、ようやく本体工事である推進工に取り掛ける事が出来ます。15tの橋型クレーンを建て、泥水1次処理プラント、2次処理プラントはフィルタープレスを設置しました。発進立坑は、いつもとは違う船型をした駆体なので少し戸惑いながらもなんとか発進架台、元押装置、坑口取り付け、鏡切りと作業を進めました。発進直後からキツイ粘性土の中を推進する事になり、余剰泥水の処理にフィルタープレスはフル稼働でした。セメント改良部に依る排泥管閉塞や到達間際に花崗岩に接触するなど幾つもの予期せぬ事態を乗り越えて何とか到達することが出来ました。

次の出光興産(株)様の施工までに若干時間があつたので、気持ちの切替をしようとして、会社で書類の整理しているとさすがに繁忙期の為「ちよつと北海道の現場を1つやつて。」と軽く出張命令が出て、翌日小樽に向かつていました。今年は80年ぶりの暖冬であつたはずの北海道も到着1週間前から平年並みの季候に戻つており、吹雪の中での施工という洗礼を受けることとなりました。短い距離ではありましたが、タイトな工期をクリアして、身支度を整え、帰路に付く為によく到着した千歳空港には【欠航】の二文字が無情にも点灯していました。翌日の天候回復を待とうかと迷いましたが、結局17時間掛けて列車で愛知県に戻つて来ました。

当初予定の2つ目の現場に乗り込みましたが、隣が前回の現場とあつて、あまり周りの風景は変わりません。しかしさすがに12月ともなると海の風の体感温度は北海道にも勝るとも劣らない冷たさでした。推進を開始してみると土質は、隣工区と然程変わらなずキツイ粘性土との戦いでした。到達時には北海道と同様に雪が舞い雪に縁の深い年末となりました。

私にとって防寒着を着て乗込んだ2月から、終わつてみると、やはり防寒着を着ているといった長い期間であり、また忙しい時を過ごしてきましたが、今こうして現場を振り返りながら紹介記事を書かせて頂けるのも、それぞれの現場に関わり応援して下さい下さった方々のお陰と、深く感謝致しております。ありがとうございます。

【工事概要】(敬称略)

工事名: 出光興産(株)愛知製油所 冷水送液設備工事
工事場所: 愛知県知多市南浜町11番地
発注者: 出光興産(株)愛知製油所
元請会社: 鹿島建設株式会社
工事内容: φ2200mm土圧式推進工 30m×1sp



マシン搬入



発進立坑



マシン到達



マシン到達

【工事概要】(敬称略)

工事名: 知多エル・エヌ・ジー株式会社 冷水取出設備工事
工事場所: 愛知県知多市南浜町27番地の1
発注者: 知多エル・エヌ・ジー(株)
元請会社: 鹿島建設株式会社
工事内容: φ2400mm泥水式推進工 230m×1sp
φ2500mmライナープレート掘削



マシン吊り降ろし



発進立坑



管内でライナープレート掘削



ライナープレート掘削